

平成29年度 所信表明

一人ひとりがきらりと輝き みんなが主役のまちづくり



3月定例会で発言する西田町長

町政の基本方針と 施策の大綱

◆第2次紀宝町総合計画

平成29年度を起点とし、今後10年間にわたる町政の基本的な指針となる「第2次紀宝町総合計画」の策定が、間もなく完成を迎えます。

昨年策定いたしました「紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容を総合的に盛り込み、総合計画と総合戦略を同時に推進することで施策の相乗効果を高めていくこととしております。

この基本構想部分におきましては、「安全・安心」人の命が一番と考えるまちづくり、「住民が主役」子どもはまちの宝、高齢者はまちの誇り、「信頼さ

れる行政」住民満足度の高いまちづくりという3つの基本理念を掲げ、本町の将来像であります、「海・山・川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」サブタイトルを「一人ひとりがきらりと輝き、みんなが主役のまちづくり」とさせていただきます。

この基本理念をもとに、「自然と共生し、安全・安心で快適に暮らせるまちづくり」、「ともに支え合う、やさしさあふれるまちづくり」、「賑わいと活力あふれる産業・交流のまちづくり」、「いつでもどこでも学ぶ教養豊かなまちづくり」、「住民と行政の協働によるまちづくり」という5つの基本目標を設定し、それらを実現していくため、46の施策を掲げております。

これらの施策を充実・発展させ、今後も引き続き、住民の皆様との安全で安心した暮らしの実現を目指し、誰もが、紀宝町に住んでいてよかったと思っていただけるまちづくりを進めてまいります。

◆地方創生

地方創生につきましては、平成27年度から事業に取り組み、



誘致が進む井内工業団地



紀の宝みなと市

本年は3年目を迎えることとなります。

平成27年度には、人口の中長期の将来展望を示した「紀宝町人口ビジョン」や、平成27年度から5か年で重点的に取り組む施策、目標等を示す「紀宝町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定してまいりました。

地方創生関連事業といたしましては、平成28年度には、国の交付金も「地方創生加速化交付金」に切り替わり、紀宝町におきましても地方創生先行型で取り組みました事業を、「地方創生観光しごとづくり関連事業」や「地方創生子育て関連事業」など、5つの事業に発展させ集約するとともに、事業を推進させていただいております。



第2次総合計画審議会



青森県藤崎町との意見交換

また、国の平成28年度第2次補正予算としまして、地方創生のハード整備を担う「地方創生拠点整備交付金」が創設され、平成29年度に取り組みべく申請を行いましたところ、浅里キャンプ場に集客交流拠点として、宿泊施設バンガローを整備するための事業を採択していただきました。

この施設は、町の資源を「つなぐ」、郷土食を「楽しむ」、旅行者や移住者、学校、企業等を「受け入れる」の3つのテーマとしたもので、紀宝町の観光拠点の中核と位置づけるものとなります。

また、今まで取り組んでまいりましたソフト事業は、平成28年度から始まった「地方

創生推進交付金」を有効に活用しながら、近隣市町との広域連携事業といたしまして、魅力あふれる強い観光地域づくりとしての基盤の強化や、今回新たに青森県南津軽郡藤崎町との特産品交流を通じ地域の枠を越えた取り組みを行う「地方創生観光しごとづくり関連事業」、子育てしやすい町をアピールし都市部から子育て世代等の移住を促進する「子育て移住定住促進関連事業」、アジア圏の海外ツアーが増加していることから外国人を受け入れる地域環境整備を行い、また、外国人観光客のみならず新たな年齢層の国内観光客の誘客を図る「外国人誘客等推進関連事業」等の実施を検討してまいります。

◆商工振興対策

商工振興対策といたしましては、町の商工業者の皆様や、紀宝町商工会との連携のもと「紀宝町商業活性化委員会」を立ち上げ、町の商業の活性化と賑わい創出のための活動を行っていただいております。

その一つの形といたしまして、「紀の宝みなと市」を、毎月第2土曜日に鵜殿港において開催しておりますが、昨年の12月には、4周年を迎え、本年1月には50回の開催を数えるまでになり、ご来場いただく多くの皆様には、地元で獲れた新鮮な魚や野菜、弁当、総菜などが店頭に並び、大変ご好評いただいております。

今後も、紀の宝みなと市を継